

# 黒い雲

THE CLOUD



チェルノブイリから20年。  
その悲劇は忘れ去られたのか？  
その危険はぬぐい去られたのか？

監督 | グレゴール・シュニッツラー (長編初監督) | プロデューサー | マルクス・ツイマー | 脚本 | マルコ・クロイツハイントナー | 原作 | グードルン・ハウゼヴァング「見えない雲」(小学館刊) | 出演 | ホーラ・カレンバーク、フランツ・ディンダ、リッチー・ミュラー

2006年 | ドイツ | カラー | 108分 | 1:2.35 | 原題: DIE WOLKE (雲) | 配給 | シネカノン

[www.cqn.co.jp](http://www.cqn.co.jp)



# その日、ドイツ全土に 衝撃が広がった！

1986年4月26日、世界の原発史上最悪の事態となった  
チェルノブイリ原子力発電所の爆発事故。

あれから間もなく20年となる今年の3月16日に、1本の映画がドイツで公開された。

『黒い雲』は、あるドイツの地方で原発事故が起こり、その街はパニックに陥り  
何の罪もない市民達がその渦に巻き込まれる、というドラマだ。

実際に17の稼働中の原発を有するドイツでは、

この物語は絵空事ではなく身近に起こりうるリアリティを持ち、

数ある娯楽大作の中で第6位の興行成績を収め、

その評判と衝撃が瞬間にドイツ中に広がっていった。

そしてドイツの約3倍の原発を持ち、

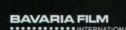
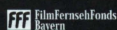
長崎、広島を経験を通じて放射能の恐ろしさを知る日本でも、

この作品は“今そこにある恐怖”として多くの人に強い衝撃を与えるだろう。



## 黒い雲

監督 | グレゴール・シュニッツラー (長編初監督)  
プロデューサー | マルクス・ツィマー 脚本 | マルコ・クロイツベイントナー  
原作 | グードルン・パウゼヴァング「見えない雲」(小学館刊)  
出演 | ボーラ・カレンバーク、フランツ・ティンダ、リッチー・ミュラー  
2006年 | ドイツ | カラー | 108分 | 1:2.35 | 原題: DIE WOLKE (雲)  
配給 | シネカノン [www.cqn.co.jp](http://www.cqn.co.jp)



2006年 冬

シネカノン有楽町  
JR有楽町駅前 ビックカメラ7F 03 (3283) 9660

他 全国順次公開